



ひょうごSDGsスクールアワード

表彰式を開催しました

子ども達が主体となって取り組んでいるSDGsの目標達成につながる活動に関し、特に先進的な取組を行っている16学校園を『ひょうごSDGsスクールアワード2022』として表彰しました。

日時 令和5年1月24日(火) 13:30~15:00

場所 兵庫県公館 大会議室



ひょうごSDGsスクールアワード2022表彰校園

最優秀賞

【未就学児部門】 芦屋市立精道こども園

テーマ：『スギナ畑ジュース』大作戦

【小学校部門】 姫路市立白鷺小中学校（前期課程）

テーマ：姫路城中曲輪蝶園創造事業～400年前の蝶の飛び交う城下再現～

【中学校部門】 西宮市立山口中学校

テーマ：ボランティア生徒が受け継ぐモリアオガエルの保護活動

【高等学校部門】 東洋大学附属姫路高等学校

テーマ：地域資源を活用した自然循環型社会を目指した取り組み

※特別支援学校部門については応募数が1校であったため最優秀賞は無し。

※最優秀賞受賞校園の作品は義務教育課サイト内『ひょうごSDGsスクールアワード』のページで視聴可能です。

URL:<https://www.hyogo-c.ed.jp/~gimu-bo/12sdgs/sdgs.html>



優秀賞

【未就学児部門】 インターナショナル・プリスクール CHES、Kobe English Academy、
芦屋市立西藏こども園、芦屋市立岩園保育所

【小学校部門】 三田市立弥生小学校、加古川市立上荘小学校

【中学校部門】 姫路市立坊勢中学校、たつの市立龍野西中学校

【高等学校部門】 兵庫県立御影高等学校、兵庫県立篠山東雲高等学校
兵庫県立明石高等学校

【特別支援学校部門】 兵庫県立視覚特別支援学校



表彰式の様子



兵庫県教育長から、表彰状とトロフィーが受賞校園に授与されました。

最優秀賞には金のプレート、優秀賞には銀のプレートのトロフィーを記念品としてお渡ししました。

このトロフィーは上部にSDGsカラーホイールが飾られ、スイッチを入れることで七色に発光します。



はじめに最優秀賞の4校園への授与を行いました。

各学校園2名が参加し、それぞれ表彰状とトロフィーを受け取りました。

最優秀賞の学校園への授与に続いて、優秀賞の12校園に表彰状とトロフィーの授与を行いました。

授与に続いて、ひょうごSDGsスクールアワード審査委員会、中瀬委員長から、審査講評をいただきました。



ひょうごSDGsスクールアワード審査講評



県立人と自然の博物館
中瀬 勲 館長

SDGsの取組が兵庫県下で、幼児期から高校生まで行われており、色々な視点で、時間をかけて取り組まれていることについて評価したい。

世界規模や全国規模といった大規模な活動も大事だが、今回受賞された活動のように、地域に根差した小さな活動から取り組むことが大事である。

絶滅危惧種等を復活させようとする活動を見聞きするが、その手段として、他の地域で採集したものを持ってきたり購入したものを放したりすることは遺伝子攪乱を起こす要因となる場合もあり、我々は慎重にならなければいけない。

SDGsは17の目標が印象的であるが、SDGsレイヤーケーキモデルを意識してほしい。3つの層を関連付けて取り組むことが大切である。また、SDGsから派生している経済や倫理の話はどう扱うかを考えてほしい。

SDGsレイヤーケーキモデル



⇐表彰式終了後は、表彰状とトロフィーを持って、記念写真撮影を行いました。